2004 年 7 月 8 日

MEDICINOVA

各位

# メディシノバ社　リチャード・ガンマンズ博士,臨床研究担当エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントに就任。

メディシノバ社　リチャード・ガンマンズ博士,臨床研究担当エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントに就任。

※ この日本語抄録は英文プレスリリースに基づくものであり、原本を合わせてご参照いただきますようお願い申し上げます。

２００４年 ７ 月 ８ 日　米国　サンディエゴ発　？　メディシノバ社（米国　サンディエゴ、代表取締役社長：清泉貴志 ）　はリチャード・Ｅ・ガンマンズ博士を臨床研究担当エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデントに任命しました。ガンマンズ氏はブリストール・マイヤーズ・スクイブ・ファーマスーティカルズ、インカラ・ファーマスーティカルズ、 およびインターニューロン・ファーマスーティカルズで２５年以上にわたり臨床開発に携わってきました。

今回のガンマンズ博士の就任は、本年度初頭のブライアン・アンダーソン氏の事業開発担当エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント就任、マーク・ロッツ氏の薬事担当ヴァイス・プレジデント就任に続くもので、経験、実績を積んだ経営陣を形成することにより、弊社は今後より一層充実した製品ポートフォリオを構築して参ります。

２００５年初期までに、 MN-001( 気管支喘息治療薬) 、MN-305( 全般性不安障害治療薬) 、MN-166( 多発硬化症治療薬) および MN-221( 切迫早産治療薬) の４つの化合物のフェーズ２試験、ならびに MN-029 （固形癌治療薬）のフェーズ１試験を行う予定です。

弊社が継続的に拡充してゆく製品ポートフォリオの臨床開発を管理する上で、ガンマンズ博士の様々な治療領域における専門知識、中でも抗不安薬ブスパーを含む中枢神経障害の医薬品開発における特筆すべき経歴は、不可欠なものとなります。

ガンマンズ博士は米国での７つの承認を含めて、ヨーロッパ、北米において５０以上の化合物の販売認可に至る開発および薬事承認に貢献してきました。

ごく最近まで、インカラ・ファーマスーティカルズで開発担当エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、１９９４年から２０００年にかけてインターニューロン・ファーマスーティカルズ（現　インデヴァス）臨床研究シニア・ヴァイス・プレジデントを歴任してきました。またそれ以前は、ブリストール・マイヤーズ・スクイブにて１４年間にわたり中枢神経系臨床研究ディレクターをはじめとする要職を歴任してきました。

ガンマンズ博士はジョージア大学薬学部にて博士号、パーデュ大学クラナート大学院 大学院にて経営修士号を修得。